

地学協働

01

2022年10月

Hokkaido community and school collaboration

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

1 地学協働と本広報誌について

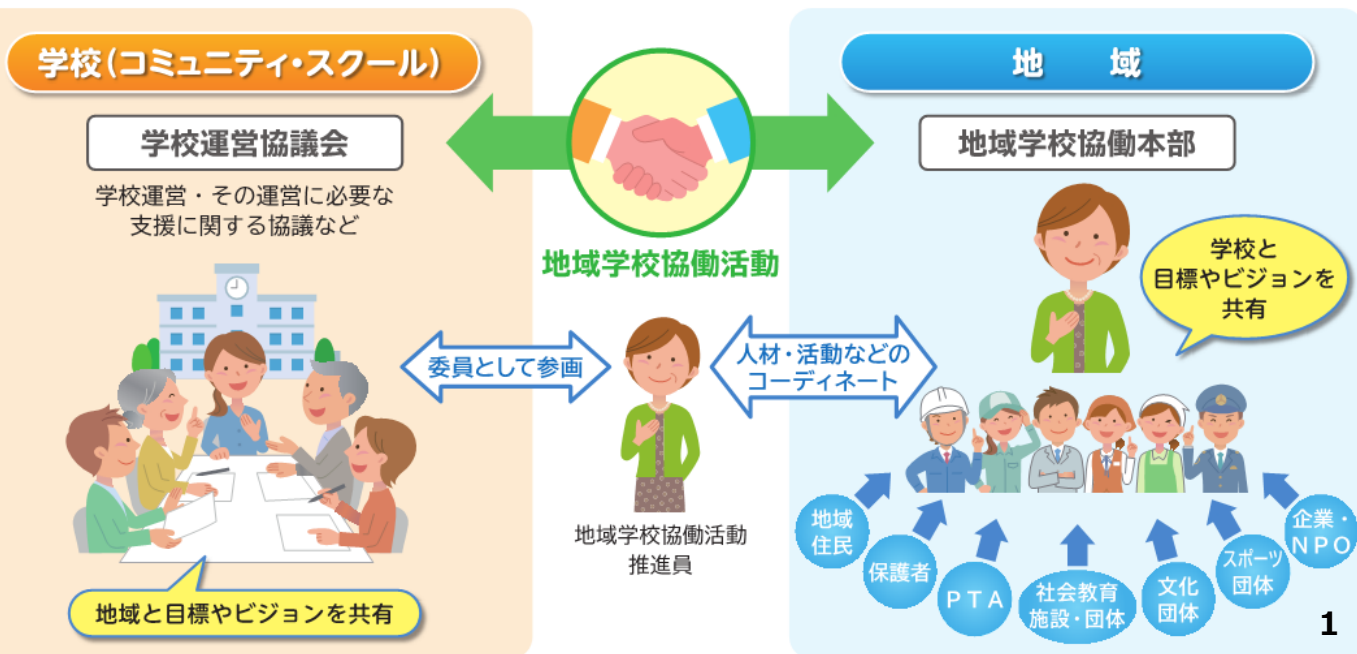
道教委では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を「地学協働」と称し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する活動を積極的に展開し、Win-Win の関係の構築を目指しています。

地学協働は、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

また、子どもの成長を軸として、地域と学校が意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげていくことを目指しています。

この度、地学協働の普及と一層の推進を図るため、道内における様々な地学協働の取組や情報を、教職員や行政職員、関係機関の皆さんに向けてお伝えするため、本広報誌を発行することとしました。

つきましては、職場や地域において、地学協働を普及・推進するための参考資料としてご活用ください。



2 北海道のコミュニティ・スクールの状況

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置している学校のことです。学校と地域が子育ての目標を共有し、地域総掛かりで、協力して子どもを育てましょうという仕組みです。

ここでは、令和4年9月に文部科学省が公表した調査結果や北海道独自調査結果から、道内において学校運営協議会を設置している学校の状況や、学校運営協議会でどのようなことが話し合われているのか、学校運営協議会を設置した成果を紹介します。

① 道内において学校運営協議会を設置している学校の状況（札幌市を除く）

	幼稚園・ こども園	小学校	中学校	義務教育 学校	中等教育 学校	高等学校	特別支援 学校	合 計
令和4年度	19	646	385	15	0	37	36	1,138
(5月1日現在)	45.2%	85.1%			0%	17.2%	53.7%	73.2%
令和5年度	18	714	430	19	0	54	67	1,302
(予定)	43.9%	95.6%			0%	25.2%	100%	84.5%

文部科学省「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査」（令和4年9月）

② 学校運営協議会で話し合われていることや成果

右上の表は、小・中学校の学校運営協議会で話し合われている議題の上位5つです。

校長が学校運営協議会で教育課程（学校教育の目的や目標を達成するために総合的に組織した学校の教育計画）に関して説明し、目指す子どもの姿を学校運営協議会委員をはじめ地域住民と共有することで、地域と学校が連携・協働した取組を進めています。

また、右下の表は、教育委員会が所管する小・中学校に学校運営協議会を設置した成果としてとらえていること上位5つです。

学校運営協議会を設置することで、「学校と地域が情報を共有するようになった」、「地域と連携した取組が組織的に行えるようになった」などの成果が見られ、地域とともにある学校づくりを実現していることがうかがえます。

学校運営協議会で話し合われている議題【小・中学校】

- ・ 学校評価（学校自己評価・学校関係者評価など）
- ・ 地域・保護者との連携に関すること
- ・ 地域人材の活用
- ・ 学校行事
- ・ 教育課程



学校運営協議会を設置した成果【小・中学校】

- ・ 学校と地域が情報を共有するようになった
- ・ 学校に対する保護者や地域の理解が深まった
- ・ 地域が学校に協力的になった
- ・ 地域と連携した取組が組織的に行えるようになった
- ・ 特色ある学校づくりが進んだ

道教委では、本道の地学協働活動の充実を目的とし、学校運営の改善・充実や学校と地域の連携・協働、地方創生等に関する課題の解決や推進方策について助言を得るため、北海道地学協働アドバイザーを設置しています。

社会教育や学校教育に関して専門的な知見を有する方や、地域振興や地方創生に関して識見等を有する方の中から、全道から下記の4名の方をお願いしています。

アドバイザーが、学校や市町村教育委員会に直接関わる業務として、以下の2つがあります。

- ① 北海道教育委員会及び市町村教育委員会等の主催の各種研修会等における説明や助言
- ② 道内の地域学校協働本部や学校運営協議会への助言

これまでは、コミュニティ・スクールの導入に際し、教職員や行政職員を対象とした研修会への派遣の要請が多かったのですが、最近では、既にコミュニティ・スクールを導入している学校から、学校運営協議会の活性化や、地域学校協働活動の効果的な推進について、助言を求められることが増えてきました。

これらの研修会や会議等に、アドバイザーの積極的な活用をお願いします。

なお、アドバイザーの謝金や旅費については、道教委が負担します。（※予算の範囲内になります。）

申込方法は、令和4年8月9日付け教社第986号で通知しています「（様式1）北海道地学協働アドバイザー派遣希望申請書」を各教育局の担当者あてに、提出してください。



青田 基氏
（あおた もとい）

【所属】
ファーストナレッジ株式会社 代表取締役
【経歴】
北海道PTA連合会長、文部科学省地域学校協働活動調査研究推進コンサルタント、社会教育士 等
【函館市在住】



舩田 仲永氏
（ますだ ともなが）

【所属】
厚真町教育委員会 ふるさと教育推進コーディネーター
【経歴】
道立森少年自然の家社会教育主幹、胆振管内小・中学校長 等
【千歳市在住】



森 敏隆氏
（もり としたか）

【所属】
釧路市教育委員会 統括的な地域学校協働活動推進員
【経歴】
釧路管内小学校長、ネイパル厚岸所長 等

【釧路市在住】



森野 憲仁氏
（もりの のりひと）

【所属】
比布町教育委員会 指導主事兼生涯学習アドバイザー
【経歴】
上川管内小学校長 等

【旭川市在住】

○●○子どもの読書活動推進コーナー○●○

当係では、地学協働の推進とともに、子どもの読書活動の推進に関することについても担当しています。本コーナーでは、子どもの読書活動に関わる情報や、全道における好事例などをお伝えしていきます。

授業での活用を促す学校図書館（紋別市）



紋別市立潮見小学校

① 今週の授業に役立つ おすすめ本コーナー

潮見小学校のホームページには、毎週全学級の時間割が掲載されています。

時間割を参考に学校司書が授業に役立つ本を毎週入れ替えて紹介しているので、子どもたちは授業で学校図書館の本を使用したり、授業の後に読んで学んだことを深めたりすることができます。

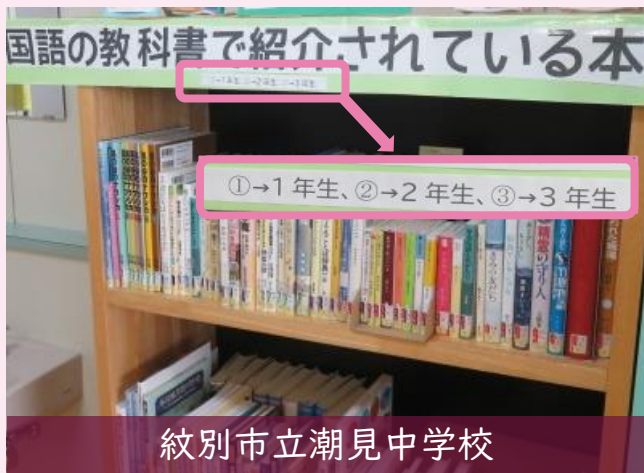
② 教科書に掲載されている物語の 作者の作品を集めたコーナー

南丘小学校の学校図書館には、宮沢賢治や新美南吉など、国語の教科書でおなじみの作者の他の作品を集めたコーナーがあります。

授業で読んだ物語の作者の他の作品を紹介することにより、お気に入りの作者の本を読もうとするなど、子どもたちの読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるよう工夫しています。



紋別市立南丘小学校



紋別市立潮見中学校

③ 国語の教科書で紹介されている 本を集めたコーナー

潮見中学校では、国語の教科書で紹介されている図書のコーナーを設置し、単元ごとに関連する本を紹介しています。

また、生徒が探しやすいように、例えば1年生の関連する本には、背表紙に「①」と表示するなど、生徒が授業で興味をもった本に、簡単にアクセスできるよう工夫しています。

題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

（公益財団法人 北海道観光振興機構）のフォトライブラリーから御提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>